
地域の専門家協力委員会を設置するために

下記に記すガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験からまとめられたものである。ここにはまた、「12の伝統」とAA評議会（アメリカ・カナダ）とによる指針が反映されている。

1970年1月、AA常任理事会（ゼネラル・サービス・ボード）の決定により、専門家（職業人）との協力に関する常任理事会内の委員会が設置された。これは広報委員会から分かれたものである。さらに翌年、評議会（ゼネラル・サービス・コンフェレンス）にも同様の委員会がつくられた。以来、各地域のAAメンバーは、専門家協力委員会を設置して地域の必要性に応じている。

専門家の人たちは、ほとんど例外なく、AAを、助けを求めるアルコールクのために活用できる第一の社会資源であると考えている。地域社会のAAメンバーと職業でアルコールクムの分野に携わる人たちとの関係がうまくいっている場合には、専門家はAAを奨励し、AAメンバーは同様にお返しをし、苦しんでいるアルコールクは利益を得る。つまり、その人は必要とする助けを両方から得られることになる。

われわれはこれらのAA外の人たちと競合するものではないし、彼らにしても同様である。われわれは独自の役目を持っている。AAは教育、研究、医学、カウンセリング、治療、予防、資金の提供などの仕事はやらない。われわれはただ、アルコールクのために回復のプログラムについてのメッセージを運ぶだけである。そしてこのプログラムは、それを求める無数の人たちに効くのである。

専門家は、教育やカウンセリングや社会復帰治療によって、アルコールクがこのプログラムを求めるようになるよう手助けすることができる。また彼らは、地域社会に対して援助をすることができる。すなわち、AAがメンバーの病気の進行をとめてくれたこと、しかしまだこの進行性の病気に苦しんでいる無数の人たちがいること、これらのことを地域社会に気づかせ関心を払うようにさせることができる。AAメンバーについての最近のある調査によると、調査対象となったメンバーの内、3分の1以上のものは、自分がAAにつながったのは専門分野の誰かのお陰であると答えている。

アルコールクムの分野での活動は増大してきており、ますます多くの人たちがそれに関わるようになってきている。そして、その中にはAAのことをほとんど、あるいはまったく理解していない人たちもいる。したがって、友好的な協力の精神で率直な意思疎通を図ることが、ますます大切になってきている。

このガイドラインが、専門家協力委員会の活動領域と役目とを明確にし、その設置を助ける役に立てたら幸いである。すでに広報委員会や施設委員会のある地域では、これらの委員会からも何人かのメンバーが専門家協力委員会の準備会に参加することがすすめられる。

AAの各委員会の関係：広報委員会・専門家協力委員会・施設委員会

話を明確にするために、以下に各委員会の任務を述べる。

◆ 広報委員会

この委員会の目的は、AAのメッセージを、マスメディア（新聞、雑誌、ラジオ、テレビなど）を通して一般社会に運ぶことであり、またアルコールクを手助けする立場にいる人たち（妻、夫、医師など）を通してアルコールクに伝えることである。広報委員会のメンバーは、またしばしば学校を訪問し、学生たちにAAについての話をする。

◆ 専門家協力委員会

この委員会のメンバーは、職業を通してアルコールクと接触する人たちに、AAについての情報を提供する。この職業人たちの中には、アルコールリズムの分野で仕事をする人たちばかりではなく、医師、看護婦、聖職者、法律家、ソーシャルワーカー、労働組合のリーダー、企業の管理者などが含まれる。これらの人たちに、われわれがどういう立場にいるのか、何ものであるか、何ができるのか、何ができないのか、などの情報を提供するのである。AAメンバーと職業人たちとの間で、良好な協力関係が確立されるよう努力が払われる。

◆ 施設委員会

AAは病院、アルコールリズム治療／社会復帰センター、刑務所などにいるアルコールクにも回復のメッセージを運ぶ。この委員会の目的は、これらの施設にメッセージを運びたいと思っているAAメンバーやグループを調整することである。

地方単位の専門家協力委員会が設置されているところが多いが、そのような地域ではこれら3つの委員会の間に連携が確立されている。すなわち、施設委員会メンバーのうちの1人と広報委員会メンバーのうちの1人が、専門家協力委員会の連絡員メンバーとなり、広報委員会のメンバー1人と専門家協力委員会のメンバー1人が施設委員会のメンバーを兼ね、専門家協力委員会と施設委員会のメンバー各1人が広報委員会のメンバーを兼ねるというように。各委員会の任務が重なり合う場合が多々あるからである。AAの各委員会とは、お互いに競合しないように関係を明確に打ち立てるべきである。誰が何をやるかは、地域の事情に応じて決められることである。

個人よりも原理を優先させるというわれわれの伝統からすれば、誰が、あるいはどの委員会がAAのメッセージを運ぶかは、さして重要ではなく、それよりもメッセージがまだ苦しんでいるアルコールクに運ばれることが重大なのである。

広報活動に際しては、われわれは宣伝により奨励することよりも、ひきつける魅力を基にすることを第一に考える。職業人たちとの協力においては、われわれは従属関係のない協力をもたらす創造的で生産的なやり方を見つけていきたい。

専門家協力委員会で活動する多くのAAメンバーの経験からすると、協力はさまざまな形を取るものである。例えば、AAメンバーが自分の主治医にAAのことを知らせる、専門家集団と手始めの接触を取る、文書を配る、専門家をオープンAAミーティングに招く、などである。どのような形であろうと、それが直接の接触であろうと第三者や専門家を通してのものであろうと、帰するところは『1人のアルコールクがもう1人のアルコールクにメッセージを運ぶ』ということなのである。

始めるにあたって・・・1地域でのプラン

多くの地域では、専門家協力委員会は次のような手順で作られた。

1. 州委員会によって州専門家協力委員会議長と副議長が選任される。
2. 各地区において地区専門家協力委員会議長と副議長が選ばれる。
3. 広報・施設・専門家協力の各委員会は、他の二つの委員会に出席する一人のメンバーを決定する。このようにしてAA内部での意思疎通、協力を維持していく。
4. 開始するための予算が州委員会基金から承認される。
5. 専門家協力委員会の月例会が計画される。そこでは上記の広報・施設の各委員会からの代表も議決権を持つ。関心のあるAAメンバーは誰でも、どのミーティングにも出席することができ歓迎される。

専門家協力委員会の背景についての資料と、その当初からの歴史、関連するすべての『ガイドライン』とパンフレット、『広報・専門家協力委員会報告』とGSO発行のニューズレター『ABOUT AA』の最新号、これらのひと揃いが用意され、委員会の各メンバーが利用できるになっている。『アルコールクを援助する地域活動と、AAメンバーはどのように協力するか』というパンフを、専門家協力委員会メンバーの基礎的「テキスト」にすることが勧められる。このパンフには、AAメンバーが誰とも従属関係を持つことなく、誰とでも上手く協力してやってゆくための、多くの経験が記されている。

地区議長は、代議員に専門家協力委員会の設置について、そしてその活動と役目について報告するように求められている。専門家協力委員会活動についての情報が、グループのレベルで活用できるようにするためである。

専門家協力委員会はゆっくりと着実に進むべきもの、という点では意見の一致がみられている。そのためにも、アルコールクに対する援助や治療を提供する自治体の社会資源（注釈：施設、期間、制度、サービスなど）の数や種類について、各地区委員会で調べてみるよう勧めたい。つまり、それぞれとAAとの現在の関係はどうか。それは改善可能であるか調査することである。そして委員会の各メンバーがそれを更に追っていきけるよう有益な情報を広く集めていく。

専門家を個人と組織の両方にわたってリストアップしたならば、専門家協力委員会のメンバーが次のようなことができる。

1. 手始めの接触をとる（手紙、電話、直接会う）。
2. AAに関心のある専門家には、AAについて話をしに行きたいと申し出る。そして、AAのできることとできないことを理解してもらう。
3. 専門家に地域のオープンAAミーティングに案内したいと申し出る。
4. AAの回復のプログラムを書いた文書を提供する。
5. AAは、アルコールクの回復を手助けする地域社会の資源のひとつとして、奉仕することを熱心に望んでいるということを強調する。

専門家協力委員会を作るには、いくつかの異なったやり方がある。その地域の必要に応じてそれを選べばよい。その地域と地区のサービス機関を通してでも、地方のセントラルオフィスかインターグループを通してでも、あるいはいくつかのグループを通してでも、全体的な組織を持った方がよい。そうしないと、コミュニケーションの問題や活動の重複、そして徹底的な混乱が必ず起こるだろう。

専門家協力委員会が地域全体にわたって活動に入る

ある評議員はその地域（エリア）で専門家協力委員会を作るにあたって、次のようなことを述べている。

「私の地元には今、専門家協力委員会が6つか7つあります。委員会のメンバーは、地区委員会によって指名された場合もあれば、インターグループで選出された場合もあります。それは、その地方でこの種のことを決める時にいつも取られる手順に従ったものです。私の地区ではインターグループ議長が委員を指名しました。議長に指名された人は、地元のある実業家で、一専門家を通してAAに紹介されてきた人です。従って、職業人たちにとってAAを理解することがどれほど大事か、そしてAAにとって職業人たちと協力していくことがどれほど大事かを議長になった人は理解できるわけです。

次に、各地方から専門家協力委員会代表が私たちの地域集会に募るようになり、今は『地域専門家協力委員会』ができています。この委員会は、施設委員会や広報委員会がやっているのと同じように、定例の地域集会の前に会合を開いています。その会合の議事録は、書記の報告書の中に含まれます。このようにして代議員は、自分たちの地域でどういうことが進んでいるのかを自分のグループに常に知らせていけるのです。その地方の各議長は、インターグループ会議か地区会議でその報告を提出します。このようにしているから、私たちは正しい方向に向かって進んでいると思っています。

その効果はすでに出てきています。例をあげてみましょう。ある町では、地区アルコールリズム協議会（訳注：1）がありますが、そのメンバーである医師の一人は、反AA派との評判が高い人でした。しかし、その地方の専門家協力委員会のことを聞いて彼女は、そのメンバーたちを一市民として、協議会のいくつかの企画会議に参加するよう招いてくれました。そして『ABOUT AA』のことを聞き及んだ彼女は、このニューズレター発送名簿に自分の名前を載せて欲しいと言ってきました。彼女は、本当は反AA派だったのではなく、ただ彼女はかつてあるAAメンバーが自分の意見ばかり弁じたてるのを聞いて、失望しただけであったことが判りました。

もう一つの地区では、議長が一連のミーティングを始めました。このミーティングでは、公共機関かまたは専門家のノン・アルコールクのスピーカーと、AAメンバーのスピーカーひとりと一緒に話してもらうようにそたのです。AAのスピーカーは、自分のことを話し、AAがいかに効果があるかということについても少し話しました。これによってノン・アルコールクのスピーカーは、私たちの回復のプログラムがいかに効果があるかを短時間のうちに見聞することができ私たちもまた、AA以外の人たちがいかにこの複雑な病気を取り組んでいるかを知る機会を与えられたのです。

この仕事はまだ、始まったばかりです。そのことはわかっています。しかし、将来この委員会は施設委員会や広報委員会と並んで、AAが成長し成功してゆくためのもう一つの道具となると、私は信じています。」

専門家協力委員会のメンバーは常に、AAのことをよく知り、AAの歴史と、専門家たちとの良好な関係の伝統を知るように努めている。従って本質的なことが、彼らが、AAについての正確な良い印象を与えることができ、そして協力を伝え広げてゆくことができるということなのである。

（訳注：1）地域アルコールリズム協議会（Regional Council On Alcoholism）これらが集まって全米アルコールリズム協議会（National Council On Alcoholism：NCA）が形成されている。大きな影響力を持っている民間団体であり、AAメンバーも個人の資格で多数参加している。

NPO 法人 AA日本ゼネラルサービス(JSO)
住所： 112-0012 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202
Tel. 03-3590-5377 Fax. 03-3590-5419

許可なく複写・複製・転載を禁じる